

3. 科目を通した評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・それらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 方 法	定期考査，パフォーマンステスト，小テスト等	定期考査，パフォーマンステスト，授業態度等	パフォーマンステスト，提出物，授業態度等
上に示す観点に基づいて，学習のまとまり（単元）ごとに評価し，学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

入力結果へ

次の項目へ

次の項目 4. 年間を通した学習計画は，直接入力していただく様式です。
Sheet「印刷結果」を下までスクロールして入力をお願いします。





